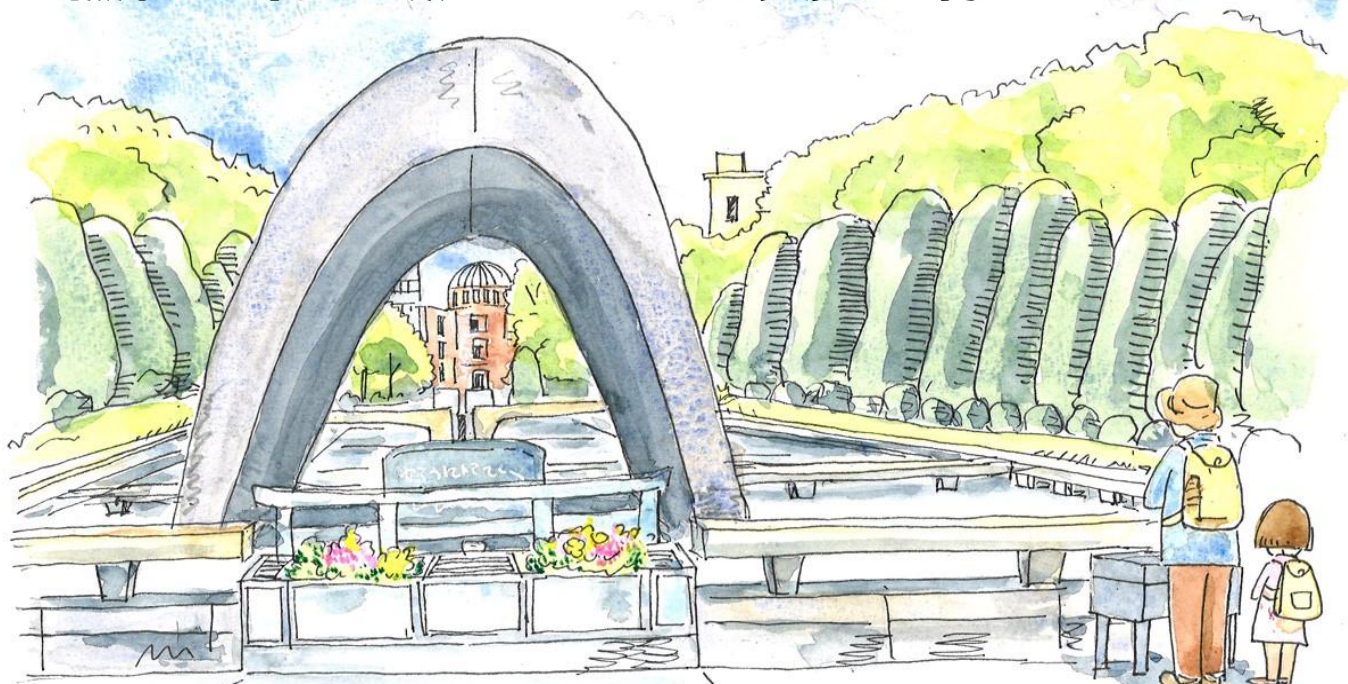


ヒロシマ平和の灯のつどい

被爆 75 年目の夏、みなさまのご参加をお待ちしています



イラスト／佐々木純一

開催日 **2020年7月31日（金）**

参加費無料

2020年8月6日、広島に原子爆弾が投下されて75年を迎えます。人類史上初めて使用された核兵器により、多くの命が奪われ、今もなお人びとの暮らしや健康を脅かし続けています。しかし、私たちの核廃絶の願いにもかかわらず、世界には地球を何度も破壊できるほどの核兵器が存在しています。広島に住む私たちは、非人道的な核兵器の使用・開発を認めることはできません。核廃絶を訴え続け、世界中の人々とともに核被害のない世界を実現する責務があります。

今年22回目を迎える「ヒロシマ平和の灯のつどい」は、毎年7月31日の夕暮れにろうそくを灯してカザフスタン被爆者への鎮魂歌「ザマナイ」の歌声とともに、原爆や核被害により死没された人びとの鎮魂と核廃絶を願い広島から世界へアピールするものです。

■ 被爆者の証言を聞く会

講師 岡田恵美子さん(83歳)
※8歳の時に爆心地から
2.8km離れた自宅で被爆
時間 17:30 ~ 18:30
場所 広島平和記念資料館
東館地下 メモリアルホール

■ つどい (大雨の時は中止します)

内容 ろうそくを持っての行進
時間 19:00 ~ 20:00
場所 平和記念公園内
原爆死没者慰霊碑前

※平和の灯 採火協力 「高校生平和大使」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次の通りご理解とご協力をお願いします。

参加にあたっては、なるべくマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。(咳や発熱など体調のすぐれない方や、過去2週間以内に感染が拡大している地域や国への訪問歴がある方などは参加をご遠慮ください。) なお、状況によっては開催を中止する可能性があります。詳しくは下記にお問い合わせください。

主催 広島市女性団体連絡会議 (ひろしま WENET)・広島市

連絡先 広島市男女共同参画課気付 電話 082-504-2108 FAX 082-504-2609